

平成30年10月12日
相模原市発表資料

米国の臨界前核実験に対する抗議及び要請文の送付について

米国による臨界前核実験の報道に接し、次のとおり、抗議及び要請文を駐日米国大使館へ送付しましたので、お知らせします。

アメリカ合衆国大統領

ドナルド・J・トランプ 閣下

駐日米国大使

ウィリアム・F・ハガティ 閣下

臨界前核実験に対する抗議及び要請

この度、貴国がネバダ州において、昨年12月に核爆発を伴わない臨界前核実験を実施していたとの報道に接しました。

たとえ核爆発を伴わないとはいえ、このような核実験を繰り返すことは、核兵器の廃絶と世界の恒久平和が実現されることを願う国際社会を失望させ、貴国への信頼を大きく失墜させるものであります。

本市は、貴国がこれまでに実施した核性能実験や臨界前核実験に対しても、再三にわたり、今後一切の核実験を実施しないよう要請してきたところですが、改めて、今回実施した臨界前核実験に対して強く抗議するとともに、今後一切の核実験を計画、実施しないよう強く要請いたします。

2018年10月12日

相模原市長 加山俊夫

問合せ先

渉外課

電話 042-769-8207 (直通)